



かわさき

第160号

議会だより

令和7年11月17日発行
福岡県川崎議会

川崎町議会ホームページ

川崎町議会

検索

二次元コードからご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



川崎中学校生徒会懇談会

9月 定例会議

みんなの声聴かせてください …… 2

決算認定 …… 4

一般質問 …… 8

関連記事 (P2・3・16)



みんなの声

1 川崎町をどう思う？

- 挨拶がとても多くてよい。人が温かい町。住みやすくて居心地が良い。
- 最近、栄えてきているので便利。発展していろいろな店が増えて過ごしやすい。
- 外からの印象は悪いと思う。
- 駅前のビーナス像を新しくするより、中学校の施設や駅前のマップの更新など他に町のためにできることがあるのではないか。



2 道の駅について？

- うれしい、楽しみ。
- 町の外からお客さんを呼びたい。
- De・愛との差別化を。同じような感じなら作る意味がないし、人が来ない。
- 売れるのか不安。集客が不安。
- 川崎町の名産物を知ってもらい、活気がわいたりしてよい。
- 川崎町の良さをアピールするための商品、販売するものの企画など、中学生の意見を提案したい。



事前に頂いたアンケートに基づき、生徒会の皆さんと懇談をしました。最初は緊張をした様子で会話が進みませんでした。終盤には、将来の希望、夢、目標について話しをして終わりました。

聴かせてください!!

今回は川崎中学校生徒会の皆さんに聞いてみました!



3 川崎町に何が必要?



- 子どもやお年寄りを大切にする取り組みやそれを支える経済力。
- 子ども食堂、子育て支援、遊ぶ場所を増やす。
- 体育館にクーラー設置など、学校をもっと過ごしやすい場所にしたい。
- 地産地消が盛んになるように、川崎町の農業を盛んにする。
- ポイ捨てなどで町が汚れているのでゴミ拾いセットを街頭に設置するなど、きれいな町作りを。
- 町民が不便だと感じていることを聞き取り、拾い上げる仕組み。改善していく発想力を。



将来の
希望・夢・目標を
聞きました

看護師、体育教師、介護士、助産師、動物学者、美容師、教師、音楽や楽器に関わる仕事、サッカー選手、バドミントンの実業団に入る、川崎町職員

未来に向けて!がんばれ!!

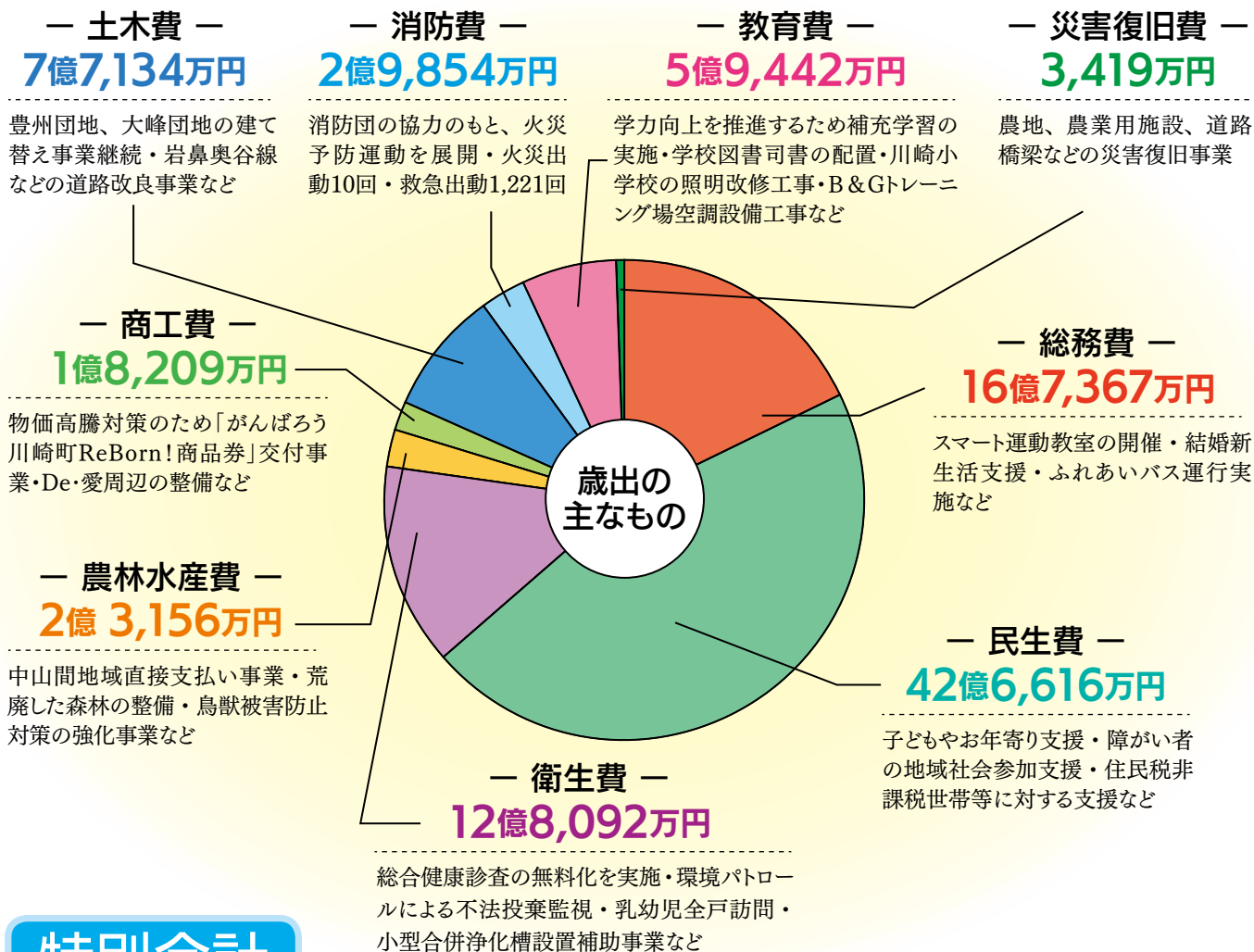
令和6年度 決算認定

一般会計

歳入121億181万円、歳出119億6,773万円

実質収支額は1億1,887万円の黒字決算。

寄附金は「かがやけ川崎応援寄附金（ふるさと納税）」の取り組みにより、2,460万円増の7億7,728万円となりました。



特別会計

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

学校給食センター	歳入1億6,316万円、歳出1億6,337万円 実質収支は21万円の赤字
国民健康保険	歳入17億6,211万円、歳出17億5,288万円 実質収支は923万円の黒字
後期高齢者医療	歳入2億8,246万円、歳出2億7,547万円 実質収支は699万円の黒字

令和6年度 田川地区清掃施設組合決算

歳入総額：443,494,232円	歳出総額：443,494,232円	実質収支額 0円
-------------------	-------------------	----------

補正予算(7月会議)

●一般会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
138億183万円	5,207万円	138億5,390万円

主な内容

- ◆ 令和7年度定額減税補足給付金事業費の追加…………… 4,525万円
- ◆ 田原地区緊急発掘調査(文化財発掘調査)事業費の追加…………… 682万円

補正予算(9月定例会議)

●一般会計補正予算(第3号)

補正前の額	補正額	補正後の額
138億5,390万円	6,543万円	139億1,933万円

主な内容

- ◆ 行方不明認知症高齢者等SOSネットワーク事業費の追加…………… 61万円
- ◆ 荒廃森林整備事業費の増額…………… 3,007万円
- ◆ 消防団第7分団格納庫建設事業費の追加…………… 3,190万円

●川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
1億7,215万円	268万円	1億7,482万円

主な内容

- ◆ 給食センター修繕料の増額…………… 200万円

●川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
18億1,449万円	860万円	18億2,309万円

主な内容

- ◆ 過年度県補助金返還金の追加…………… 467万円
- ◆ 財政調整基金積立金の増額…………… 456万円

●川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
3億705万円	△470万円	3億234万円

主な内容

- ◆ 職員人件費の減額…………… 470万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。



百条委員会調査結果報告

調査の趣旨

東田原地区の元町有地の売買の経緯、また、川崎町が警察の捜査を受けたという問題の真相究明のため、令和6年度第5回川崎町議会(12月定例会議)で、元町有地の売買に関する調査特別委員会の設置を議決し、地方自治法第98条の検査権及び同法第100条の調査権を行使し、事実関係の調査を行った。

付議事件

- ・元町有地の売買に関する事務検査委員会で確認できなかった事項
- ・最終処分場として計画されていた東田原地区の元町有地に関する事項

委員会開催状況 (定数6名)

- | | |
|---|--|
| (1) 第1回委員会 令和7年2月13日(木)
特別委員会の運営について確認。 | (6) 第6回委員会 令和7年7月11日(金)
関係人の召致について協議。 |
| (2) 第2回委員会 令和7年4月25日(金)
関係者の参考人召致を決定し、元町有地の現在の字図(名義人を含む)の資料要求。 | (7) 第7回委員会 令和7年7月28日(月)
召致予定の参考人欠席。
7月30日(水)開催する証人尋問について、協議。 |
| (3) 第3回委員会 令和7年5月30日(金)
参考人召致。 | (8) 第8回委員会 令和7年7月30日(水)
証人を召致し、聞き取り。 |
| (4) 第4回委員会 令和7年6月16日(月)
参考人召致。当時の町長に対し文書で質問。 | (9) 第9回委員会 令和7年8月4日(月)
参考人召致。 |
| (5) 第5回委員会 令和7年7月1日(火)
当時の町長への質問に対する回答内容を確認。 | |



調査結果

9回の特別委員会を開催し、最終処分場として計画されていた東田原地区の元町有地の売買に関し、5年前7,000万円で業者に落札された案件の一連の事務処理の中で、売り払い価格は適正であったのか、当時の執行部が特定の議員に町有地の売買に関し、全てを委託・委任したのか、関係人等に委員会にお越しいただき、不適切な事務執行の有無について調査を行った。

東田原地区の元町有地の売買に関し、第1回目の公募時から価格を下げたことは、要望や契約解除になったことを踏まえ、当該地に隣接する町有地を含めた鑑定を再度実施したこと、契約解除時の諸問題を顧問弁護士に相談し、募集要項、契約書等の修正を行い、第1回目の公募時の26筆に隣接する町有地7筆を加え、新たな鑑定評価に基づき価格設定したと判明した。

次に、当時の執行部が「売ってくれないか」「全部任せた」等を一議員に言ったことがあるかの事実の有無を確認すると、当時の町長であった手嶋秀昭氏から「一議員に対し町有地の売買に関して任せるようなことを言ったことはない。言うわけがない」との証言が得られた。

議員に対し、「当該地は塩漬けになり売れずに困っているから何とか売却できないか」との発言は、直接町長からの依頼や執行部から正式な文書ではなく、担当課長との会話の中であったことが判明した。

以上のことから、当委員会としては、最終処分場として計画されていた東田原地区の元町有地の売買に関する一連の行政事務は適正に行われており、誤解を招くような会話はあったものの、不適切な事務執行とまでは至らないとの結論に達した。

繁永議員辞職勧告 報告

繁永議員辞職勧告 - 結果

繁永英樹議員への辞職勧告決議案が提出、賛成10、反対4で可決。

提出者の趣旨説明

繁永議員は東田原町有地の売買に関与し利益を得た。議員として道理に外れている。

町有地の売買に関し繁永議員は4社と協議をしてうち3社に「僕にしか売れない」「町長から、任せると話があった」「町の証明書は僕にしか出せず、裏の譲渡証明書を持っている」と話をしましたが、前町長から「そんなことは全くしていない」との証言をもらいました。

業者には、手付金がないと話を進められないと言った主旨の録音テープもある。

作り話で人と町の名譽を傷つけ利益を得たことは議員として許されない。

繁永議員からの弁明

お金は契約金で疑いを招くものではなく、業務上での測量伐採等で使用したものであり、行政事務をゆがめた覚えはない。土地処理についてはうまくいくよう町長に要望した。

反対討論意見

政時議員、杉本議員、千葉議員

もう少し調べた後でもいいのでは。7,000万円で負の遺産が売買できた結果は、繁永議員の功績だと思う。

賛成討論意見

樋口議員、櫻井議員

政治倫理条例の条項の中に「議員はその地位を利用していかなる金品も受け取らない、特定業者に有利な取り計らいをしないこと」とはっきり明記、これに抵触しており決して許されず、大いなる非難に値する。

議会日誌

7月	
8日	議会運営委員会
10日	第3回川崎町議会(7月会議)
委員会	
14日	総務常任委員会
23日	民生文教常任委員会
1・11・28・30日	調査特別委員会
10・17日	広報広聴常任委員会
11・31日	建設産業常任委員会

8月	
26日	議会運営委員会
委員会	
4・19・25日	調査特別委員会
5日	広報広聴常任委員会
5・25日	総務常任委員会
19日	民生文教常任委員会
21～22日	広報広聴常任委員会 研修視察
25日	総務常任委員会・ 建設産業常任委員会
27日	常任、議運 委員長・副委員長 研修

9月	
第4回川崎町議会(9月定例会議)	
2日	本会議
3日	委員会(総務・民生・建産)
4日	議会運営委員会
5日	本会議・全員協議会・ 広報広聴常任委員会
8日	調査特別委員会
9日	予算決算常任委員会(補正予算)
10日	予算決算常任委員会(決算)
12日	本会議(一般質問)
16日	本会議(最終日)
委員会	
16日	総務常任委員会
29日	民生文教常任委員会

会の傍聴

◎12月 2日…本会議(初日)
◎12月 5日…本会議(中日)



議会の傍聴

においでください

次回定例会予定

◎12月 2日…本会議(初日)

◎12月 5日…本会議(中日)

◎12月10日…本会議(一般質問)

◎12月11日…本会議(最終日)



一般質問 よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり
町当局の考え方や疑問をたずねます。質問・答弁の詳細は二次元コードから見れます

町政を
問う!!



やまうち みほ
山下 美穂 議員

問 道の駅から始まるまちづくりを

答 アリーナ構想を検討

動画は
コチラ



議員

道の駅から始まるまちづくりに関して質問します。以前発言されたアリーナ構想で、どの辺に建てる計画か。

町長

町民会館が、築50年を過ぎ、建て替えを推進していきたい現状です。場所、規模等は、まだ検討しておりません。「準備会」をつくり構想を検討していきたい。

議員

道の駅近くに大規模なアリーナと人工芝のサッカーグラウンドをつくることによって、道の駅の収益が上り、体育施設の利用増、交流人口の増、周辺の店舗増で就業者も増、農産物の

消費も増え、スポーツ振興で健康寿命が延び、良いことづくめだと考える。

町長のアリーナ構想は、どのようなものか。

町長

2千人規模の大会ができる体育館を考え、駐車場用地も含め場所の検討をしていきたい。

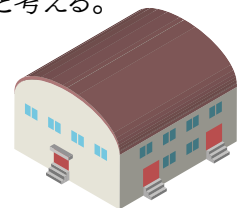


議員

アリーナや道の駅周辺に宿泊施設を建設する予定は道の駅やアリーナを建てるのであれば、中途半端なものにせず、一番いいもの、大規模なもの、そして川崎町の未来発展に役立つ施設をお願いしたい。

町長

町が建てるわけにはいきませんので、誘致になります。将来の川崎町発展のためにも必要なものを最大限誘致していきたいと考える。



動画は
コチラ



ちば かよこ
千葉 加代子 議員

問 ふれあいバスの定期券の発行は

答 導入に向けた検討を行う

議員

西鉄バスの添田線が9月末に廃止になりますが、時刻表等はどのような点に配慮されて策定しましたか。

防災管財課長

「ふれあいバス」の将来的持続可能な路線にすること、運転手の確保、住民の方の利用しやすい内容に留意した。

議員

後藤寺方面に行く場合、路線によって乗り換えで往復400円必要になる。2012年の文書にもバスの必要性が言われていますが、安価で定期券の

発行はできませんか。

防災管財課長

高頻度で利用される方もいますし、利便性向上を図るうえでも必要だと思います。今後導入に向けた検討をする。

他に町民の健康対策、B&Gのプール・野球場・トイレについて質問しました。



動画は
コチラ



問 指定納期限を設けては

答 納期限が過ぎてもコンビニで支払えるよう検討



まつおか ひさよ 議員

議員

本町での固定資産税の徴収は1期5月末、2期7月末、3期9月末、4期11月末となっている。納期限と指定期限を設けることができないか。

税務課長

納期限については、川崎町税条例で定めており、変更する場合は条例の改正が必要である。指定期限については、現在コンビニ等では納期限を過ぎると納付ができない設定となっている。役場窓口及び銀行と同じように納期限を過ぎても納付できるようにコンビニ収納契約業者と協議を行い、前向きに進めていきたい。

議員

年金で生活している方は、年金は偶数月であるが、本町の納期限は奇数月である。その点について尋ねる。

税務課長

偶数月、奇数月のバランスを考えたうえで検討したい。



▲コンビニ納付

問 封筒に広告を

答 導入について検討していきたい

議員

広報紙と違って、年に何通かは全世帯に送付されてくる封書です。これから先、稼げる町を目指さなければならない時期が来ている。目的をもって広告を募集すれば、手を挙げる企業もいるのではないかと。

財政課長

田川市では、入れている実績もあり、福岡県の封筒でも入れている団体もある。導入について検討していきたい。

動画は
コチラ



問 18歳までの子ども医療費の拡充を

答 来年度をめぐり18歳まで進める



てしま ゆみ 議員

議員

本町の15歳から18歳までの人数は411名。2026年度から導入される「子ども子育て支援金制度」において、新たな財源の確保が可能となる。本町の子ども医療費の助成対象を高校生世代の18歳までに拡充できないか。

町長

子どもの医療費の問題、国のほうも対策が出てきたので、町もこの期に应运じて調査しながら来年度をめぐり、18歳までに進めて行く。



問 廃止後の西鉄バスに代わる交通手段は

答 新たに「おでかけコース」を新設

議員

10月より西鉄バス路線が廃止となる。廃止後の西鉄バスに替わる交通手段と対応策は。

防災管財課長

代替措置として、10月1日よりふれあいバスに新たな路線を運行し、田川市内の西鉄バス営業所への接続を

計画している。福祉センターを発着点とし、役場や豊前川崎駅を経由して、田川病院、JR後藤寺付近、西鉄バス営業所へと接続する路線で、田川市方面への移動手段を確保する。

※10月からの主な変更点

荒木小児科前バス停



コメリ付近に移動

西鉄バス廃止に伴い、ふれあいバスの、運行路線も変わります。



問「道の駅」での特産品は

答 レンゲ米の商品展開

動画は
コチラ



議員 道の駅を建設した場合に販売する品物または本町の特産品は。

企画情報 課長 地元で生産されたイチゴ、リンゴ、梨やブドウなどの農産物や加工品、レンゲ米の商品展開を考えている。

議員 道の駅建設費は当初32億円の予算でしたが、また道の駅の利益はどの位と予想しているのか。

企画情報 課長 公的には32億円で変わっていない。収支は年間来客数35万人、売上額4.5億円、利益3千万円の見込み。

議員 De・愛は収益が上がっているようだが、De・愛裏にオートキャンプ場を作る計画は断念したが購入した土地の跡地利用を含めての方策は。

企画情報 課長 De・愛は道路改修や公園整備など今後も継続的な投資を行ない、道の駅と機能分担をした地域農産物の販売拠点として活用を考えている。

議員 公金不明金について、令和6年3月議会から毎議会一般質問をしているが、全く捜査が進展していない中、担当者1人の職員が公金を補填してとの教

育長の答弁に間違いはないか。

教育長 教育委員会として事実を把握し一貫して事実に基づいて答弁している。公金の不明時の担当職員が自分の過失を認め関係法令に基づき全額を弁償した。



問 川崎町の農業環境の整備を

答 地域のニーズに対応して取り組んでいく

動画は
コチラ



議員 遊休農地や荒廃農地等の活用をどの様に進めていくのか、具体的な取り組みを問う。

農林振興 課長 地域計画作成を行い目標地図のデータベース化を図り流動化や集積化については、中間管理機構の導入で地域ニーズに対応して取り組んで行く。

議員 担い手農家の育成を進め新規就農者が参入しやすい体制を整えるような支援の考えはあるのか。

農林振興 課長 担い手農家の育成は県と連携し、新規就農者への補助金等の支援や遊休農地の紹介等を行っており農業委員会と遊休農地のリスト化に取り組んでいます。農機具の準備、

研修場所の農地の準備を進めている。

議員 基盤整備が進んでいない地域では、農業を続けられないと辞める農家が増えている。そのような状況の中で農地集積化をどう進めるのか。

農林振興 課長 農業の担い手が円滑に集積を進められるように、県と協議しながら進めて行く。また農地バンクが有効な対策になるのか検討している。

議員 道の駅の開業に向け地元農産物の充実と生産力の向上を図る必要があるが、どの様に進めていくのか。

農林振興 課長 農産物拡大会議で目標設定や作物ごとの戦略的生産方法など検討をしまし

た。今年度より拡農業者へ推進していく。

他に6次産業による高付加価値農産物の充実と生産力の向上を図る必要あるがどう進めていくのか。道の駅とDe・愛が連携した農業マーケティングの推進について質問をしました。



動画は
コチラ



問 川崎道の駅の経営目標とその見通しは

答 専門アドバイザー助言の実現に努力する



議員

De・愛の野菜レストランが今も休眠状態、道の駅が同じことになってはならない。経営への対応、準備はどうなっているか。

企画情報
課長

1、レストラン、パン工房に関するアドバイザー委託。2、農産物直売に関するアドバイザー委託。3、農産物生産拡大に関するアドバイザー委託。これら専門コンサルタントからアドバイスをもらいながら開業準備に努めている。

議員

農産物生産拡大に関する議論の概要は。De・愛と

の競合は大丈夫か。

農林振興
課長

野菜、果樹、普通作（米）の生産拡大策を協議。両駅の両立は十分可能。

議員

道の駅運営スタッフの確保スケジュールは。



▲にぎわう川崎パン博

企画情報
課長

町100%出資の公営型道の駅を想定。社長は町長だが実務は駅長が担う。開業1年前には社員の確保に務めたい。

※開業初年度来客数35万人、年間売上げ4億5千万円を見込む。

道の駅に関する質疑応答以外にも「田川地区一部事務組合の統合」「令和6年度教育実務執行の点検評価」に関する質疑を行いました。紙幅の関係で掲載を省略しました。

動画は
コチラ



問 農業生産拡大のため大ヶ原に揚水計画を

答 生産者から実施計画が上がれば考える



議員

道の駅の開業に向け、農産物が現況の数倍は必要になってくる。

よって野菜、果樹園として最適な大ヶ原が昨今の高温気象で深刻な水不足になっているので生産能力を高めるため揚水計画を進めてはどうか。それは、新規就農の方を迎え入れる要因にもなる、方法に野呂ヶ池からの導水は。

町長

しっかりとした事業計画がないと税金を投入出来ないのが現実です。



▲大ヶ原大地の現状

レンゲ米も生産者拡大委員から乾燥機と貯蔵庫等の要望を受けつくることにしました、揚水の件も様々な協議していきたい。

問 火災防災対策として
町独自の管理条例を

答 新たな条例を作るのは難しい

議員

最近3件の火災があり、いずれも資材、機材の集積場所でした。

これらの他、不法投棄も含めて様々な廃棄物見受けられるが、事前の危険回避として、町独自の厳しい管理条例をつくってはどうか。

防災管財
課長

消防法に準じて既に火災予防条例も制定されており、既存の条例と重複することになり難しいと考えます。

問 外国人労働力の確保を
町の施策で

答 雇用主企業が申し出れば対応する

議員

少子化の日本では、この20年で生産年齢人口が20%減る、町に重要な外国人労働力を確保することは極めて必要な施策と考える。外国人への漠然とした不安、アレルギー、異文化への抵抗を克服していく必要があるのではないか。

企画情報
課長

少子高齢化により、農業や工業、福祉、教育、サービス業などの様々な分野において人材の確保が大きな課題となっている。雇用主である企業から必要な協議が出た折には対応していく。

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



民生文教常任委員会

「書かない窓口」の早期実現を

令和5年2月から「引っ越しワンストップサービス」により転出届のオンライン申請や転入予約が可能となり、令和7年4月からはLINEでの証明書発行申請も開始され、利便性が向上している。今後はマイナンバーカードを活用し、庁舎内でのコンビニ交付多機能端末やJ-LISのらくらく証明書交付サービス導入を検討している。一方で、「書かない窓口」の実現が進んでいないことが課題であり、住民課に限らず全窓口で課題を洗い出し、改革を進める必要がある。

委員会から

オンラインやコンビニで完結する業務と役場が担う業務の線引きを明確にし、業務の簡素化・効率化を図るよう要望があった。また、総合窓口は利便性を高める工夫が不可欠で、混雑を招かぬよう利用者を適切に誘導する必要性が指摘された。

マイナンバーカードを持つメリットを発信して欲しい

5月31日現在、マイナンバーカードの交付枚数は12,477枚、交付率は85.2%で、コンビニ交付利用率は約10%。保険証利用率は国民健康保険59.6%、後期高齢者医療62.1%である。今後は住民が自らカードを活用できるよう職員がサポートし、多機能端末の導入や更新対応のための統合端末増設を進める方針。課題は、増加する更新や再発行への対応に向けた業務見直しと窓口改革、受け入れ体制整備である。

委員会からの要望

普及が伸び悩む要因として「持たないデメリットが少ない」ことが指摘され、カードを持つメリットを明確に住民へ発信するよう要望があった。



子ども図書館や子ども館の設置を要望

令和7年度の図書館活動は、読書週間や工作教室、職場体験、クリスマス会など多彩な行事を展開し、キャラクター登場などの工夫で賑わいを創出している。さらに、学校への団体貸出や「おでかけ図書館」による読み聞かせ、意見交換会など地域と連携した取組も活発である。現在は「子どもの居場所」として重要な役割を担っているが、一部の子どもの騒音やマナー違反により、静かな環境を望む利用者との両立が課題である。また、ボランティアの高齢化による人材確保も深刻である。

委員会からの提案

ソフト面の活動を高く評価しつつも、図書館が本来持つ静かな読書環境と居場所機能の両立には限界があると指摘した。そのため、幼稚園跡地の活用や町民会館周辺の再構築により、子ども図書館や子ども館を含む新しい施設を設け、子どもたちが安心して過ごせる空間を確保することを提案している。



▲読書まつり



総務常任委員会

選挙の投票所・掲示板の見直し

現状と課題

- 人口減少に伴う有権者数の減少
- 投票立会人の高齢化、なり手不足
- 事務従事者の不足
- 期日前投票制度の浸透



このような実情を踏まえ

投票環境を再構築する必要があると
考え投票所の見直しを計画

◆投票所見直しの基準

- 1投票所当たりの有権者数は、3,000人を超えない
- 地理及び投票所施設の利便性を考慮
- 施設の規模、空調設備の有無、駐車場スペースの確保を考慮

◆見直しによる効果

- 人手不足の解消・人件費の削減・ポスター掲示委託経費の削減
- 事務従事者削減により、災害時等に対応できる可能性がある

◆懸念事項

投票所が4箇所減るため、投票所が遠くなる方が多くなる。

※移動支援についての声が多くあった際には、必要な移動支援の導入を検討

ふれあいバスについて

運行開始から17年が経過、路線や時刻、乗客数を考慮した変更を行いつつ運行。より利用しやすい公共交通手段となるよう、持続可能な運行を目指すための問題点①運転手の確保②利用者の減少③利用者の少ない路線やバス停の対応④秋に廃止予定の西鉄添田線の代替え措置等が挙げられる。

このように課題を解消していきます

利用者の少ないコースの統合で便数の増加。
バス停の見直しでコースの運行時間の短縮を図る。
利用人数に適した車両選定によるコスト削減。
要望の多い幹線道路沿いの商業施設への接続や、田川病院への乗り入れコースを新設し田川後藤寺駅・田川市への接続を図る。



委員会からの要望

高齢者等の交通弱者の方が便利で利用しやすい予約制のタクシーの委託や田川広域で一本化の運営等も検討して欲しい。

道の駅かわさき進捗状況

5月に行われた「道の駅」整備事業説明会(住民説明会)の内容をとおして説明を聞きました。

現在までの事業の経緯を聞き、今後は建築実施設計、各申請・協議・調整手続きを予定。

委員会からの要望

要望があれば、地元住民への説明会を開催していただきたい。「道の駅」の完成とよりよい運営に向け、関連する課と横の連携を取り、情報の共有を図りながら取り組んでほしい。





建設産業常任委員会

ため池の安全確保を

町内に31カ所のため池 → そのうち防災重点農業用ため池 25カ所

防災重点ため池とは？ 決壊による水害や、その他災害で周辺区域に被害を及ぼす恐れがある農業用ため池を福岡県が指定。

防災重点農業用ため池のうち、堤体の一部改修工事を予定されている川崎中学校の裏にある長尾池、浦の谷地区にある六郎原池を現地視察。

長尾池



六郎原池



委員会からの要望

今後の防災重点に関しては十分に計画されているが、どのような集中豪雨が起るか予想が難しいので、急いで取り組んでいただきたい。

農産物生産拡大をめざして

持続可能な農産物の生産を目指すために生産者等現状を把握し、売れ筋を検討しながら進め、上真崎の町有農地で、昨年度はそこで試験的にブロッコリー、ハクサイ、キャベツ等野菜の作付けを行い、推奨品目選定の指標となるモニタリングを実施。

研修生を募り、De・愛裏の農地で独立に向けての指導・研修を5年周期で実施する計画あり。

Q 川崎町のナシやイチゴはとてもおいしく、川崎町の果物に付加価値をつけては？

A 生産拡大会議の中に果樹部会があり、ブランド化に向け話しをし、生産者の意見を聞きながら、その方向に向かいたい。

委員会からの提言

新規就農に関しては、川崎町は条件がいい、面白いことを考えている等の好条件でないと、競争に勝てないように思えるので、十分に考えていただきたい。



道の駅完成に向けて

～川崎町農産物直売所（De・愛）出荷者組合の関係者との懇談会～

川崎町農産物直売所（De・愛）出荷者組合の関係者、米、野菜、果樹、養蜂の生産者さん13名にお越しいただき、農産物生産拡大の課題等について、懇談を行いました。

懇談では

- ◎建設予定の道の駅は、パンの駅をコンセプトとし、農産物の直売所としてあまり考えていないとのことだったが、いつの間にか直売所も必要という流れになっている。
- ◎De・愛は安真木地区には欠かせない店舗である。De・愛と道の駅の協働・共存が大事なのではないかな。
- ◎道の駅ができるから農産物の生産拡大といわれても農家が減っており、難しいところがある。
- ◎事業への投資のさらなる後押しを。
- ◎果樹園として最適な大ヶ原台地は水不足が深刻。
- ◎道の駅の営業コントロールは市場で揉まれた人を。等

さまざまな生産者さんたちの生の声を聞くことができ、生産者さんたちは、農産物生産の拡大、道の駅の運営やDe・愛との関係、新規就農に対して行政の考え方等に不安があるようでした。

道の駅完成・開業まで2年半、今まで以上に担当課の横の連携を密に行っていただき、道の駅の方向性や農産物生産拡大に向けて検討会議、新規就農者への十分な支援を行っていただきたい。

研修視察 議会だよりの編集について 研修視察に行ってきました

8月21日、22日に広島県海田町議会へ議会だよりの編集について研修視察を行いました。

議会用語や行政用語等の専門用語は使わず、かんたんな表現方法を心がけること、文字数を少なくし、余白を多くとること、写真を多く載せること等を注意しながら議会だよりの編集を行っているとのことでした。

今回の研修をへて、さらに読みやすい、議会だよりをめざし、編集作業に取り組んでまいります。



令和7年度第3回川崎町議会(7月会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果														
			千 葉	寺 田	川 根	中 山	政 時	山 下	樋 口	櫻 井	手 嶋 寛	繁 永	松 田	杉 本	見 月	松 岡	手 嶋 康
取得	財産の取得	川崎町立小中学校教職員用端末の購入	(可決) 簡易表決														
補正 予算	一般会計	P5 を参照	(可決) 簡易表決														

令和7年度第4回川崎町議会(9月定例会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果															
			千 葉	寺 田	川 根	中 山	政 時	山 下	樋 口	櫻 井	手 嶋 寛	繁 永	松 田	杉 本	見 月	松 岡	手 嶋 康	
報告	専決処分(川崎町職員の育児休業等に関する条例の一部改正する条例)	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い条例を改正するもの	報告のため採決はありません															
	専決処分(川崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)																	
諮問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	吉田砂織氏再任	(適任) 簡易表決															
条例	川崎町一般職員の給与に関する条例の一部改正	管理栄養士について引き続き医療職俸給表を適用するもの	(可決) 簡易表決															
	川崎町児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正	丸山地区子供広場を廃止	(可決) 簡易表決															
決算 認定	一般会計	P4 を参照	(認定) 簡易表決															
	特別会計 (給食・国保・後期)	P4 を参照	(認定) 簡易表決															
	田川地区清掃施設組合一般会計	P4 を参照	(認定) 簡易表決															
取得	財産の取得	・戸籍総合システム機器一式 ・川崎町庁舎等における複合機等更新	(可決) 簡易表決															
町道	路線の区域変更	11 路線の区域変更	(可決) 簡易表決															
計画	過疎地域持続的発展計画の変更	救急医療提供体制の整備	(可決) 簡易表決															
補正 予算	一般会計	P5 を参照	(可決) 簡易表決															
	特別会計 (給食・国保・後期)	P5 を参照	(可決) 簡易表決															
発議	繁永議員への辞職勧告決議	P7 を参照	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	●	○	●	○	
報告	元町有地の売買の調査	P6 を参照	(可決) 簡易表決															

賛否表の表示は、○賛成、●反対、⊖欠席、⊙退席となっています。

※簡易表決とは

あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。



川崎中学校 生徒会長
さかもと りおん
坂元 李穂 さん

① 生徒会を通して

私は生徒会を通して、人前では「ゆっくり・はっきり話す」ことの大切さを学び、より聞き手にも伝わりやすく、自分自身も落ち着いて話すことができるようになりました。

また社会に出たときに困らないよう、自分で考えて行動することの大切さも身につけました。

② 部活動を通して（吹奏楽部）

私は3年間の活動を通して、一人で目標に向かって努力することの大切さと、仲間と協力しながら取り組むことの大切さの両方を学びました。そして、少しでも先輩に近づけるよう、日々努力を重ねてきました。

③ 今後

中学校生活で学んだことや体験したことを、これからの自分の成長にしっかりと活かしていきたいと考えています。特に、生まれ育ったこの町への感謝の気持ちを忘れず少しでもこの町の役に立てるようになりたいです。そのために、これからも努力を続けて行きたいと思います。

追跡レポート

軟骨伝導イヤホンを導入しました。

令和6年度第3回川崎町議会（9月定例会議）で「窓口の軟骨伝導イヤホンを導入しては」と一般質問がありました。

これを受け、高齢者福祉課窓口に軟骨伝導イヤホンが導入され、耳が聞こえにくい方や難聴等の高齢者と円滑にコミュニケーションがとれるようになりました。

今後は、役場の各窓口やコミュニティセンター等多くの人々が来られるところに設置が進めばと思います。



編集 後記

田川が生んだ世界的アーティスト井上陽水。彼の楽曲に「かんかん照り」があるが、今年はほとんど梅雨もなくいきなり夏、歌ながら記録的危険な猛暑となった。

そんな酷暑真っ盛りの中、川崎中学校生徒会の皆さんと当広報委員会との懇談会を初めて開催。始めは、生徒の緊張著しく発言も少なかったが、議員の誘導で一人ひとり熱い思いを語り始めた。「将来役場職員になってふるさと川崎町を担いたい。」、力強い発言に安心する。彼等にたくましく誇らしい川崎町を継承せねばと、責任と決意を新たにさせられる懇談会となった。（櫻）

● 委員	● 委員	● 委員	● 委員	● 副委員長	● 委員長	● 「広報広聴常任委員会」	● 議長	● 「発行責任者」
員	員	員	員	員	員			
松	櫻	樋	山	手	中		大	
田	井	口	下	嶋	山		谷	
孝	英	秀	美	真	信		春	
行	夫	隆	穂	由	美		清	